

発議案第25号

J R 東日本の「地方路線」を存続させ、地域公共交通の確保を求める意見
書

上記の議案を別紙のとおり、久慈市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年12月16日提出

久慈市議会議長 畑 中 勇 吉 様

提出者 久慈市議会議員 豊 卷 直 子

提出者 久慈市議会議員 泉 川 博 明

提出者 久慈市議会議員 小 柳 正 人

提出者 久慈市議会議員 城 内 仲 悦

提出者 久慈市議会議員 黒 沼 繁 樹

J R 東日本の「地方路線」を存続させ、地域公共交通の確保を求める意見書

今年7月、国土交通省の「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」が提言を公表して以来、J R 東日本では、利用者の少ないローカル線の区間別収支の公表を初めて行うなど、今日までの地方路線をめぐる一連の動きは、県内の関係地域を大きく動揺させるなど、コロナ禍からの経済社会活動の回復に向けて前進しようとする地方の歩みに水を差すものとなっている。

「鉄道存廃協議」は、「存続や廃止を前提とせず」としているが、なぜ、このような協議を行うのか、地方路線の廃止ありきの姿勢が危惧されている。

国土交通省は、関連法改正を行い、来年度から協議を開始するとのことであるが、公共交通機関である鉄道を、一企業の収支のみを頼りに運行することは困難であり、地方の住民の生活を維持するためには、国の大きな支援が不可欠である。

当地方は、歴史的にも鉄道により発展してきたところであり、J R 八戸線、三陸鉄道は、広大な岩手県沿岸の大動脈である。

NHK朝の連続ドラマ「あまちゃん」では、毎朝全国に三陸鉄道が映し出され、今でも北三陸と三陸鉄道が大きな観光資源となっており、鉄路は、産業、観光及び通勤・通学のため無くてはならない公共交通機関である。

よって、国においては、地方路線の存続と地域公共交通の確保に向け、次の事項について措置を講じるよう強く要望する。

記

- 1 「鉄道存廃協議」に関わり、地方路線を廃止せず確保すること。
- 2 「地域住民の足」となる、地域公共交通（鉄道・バス・タクシー外）を維持、存続すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月16日

岩手県久慈市議会

議長 畑 中 勇 吉

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

内閣総理大臣 殿

財務大臣 殿

総務大臣 殿

国土交通大臣 殿